学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ２　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰに続いて、「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野の学習をさらに深めます
・様々な音楽の学習活動を通して、主体的・協働的に表現する力をつけることを目標としています。
・評価は授業中の取り組みや、ワークシート、実技テスト、発表で行います。

2　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についての理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	曲にふさわしい発声で歌おう	「ヴォイス・トレーニング」「糸」「SUN」「ハナミズキ」「One more time,One more chance」	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、その関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 ワークシート
	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	「夏は来りぬ」「冬」「ソナチネ」	a:【知】曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、器楽で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どう表現するかについて独自の表現意図を持っている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 ワークシート
	表現を工夫してギタ	「天体観測」	a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、器楽で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 ワークシート

	ーを演奏しよう		c:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。			
2	ミュージカルの魅力を味わおう	「オペラ座の怪人」	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 c:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	表現を工夫して器楽アンサンブルをしよう	選択曲	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、器楽アンサンブルの表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、器楽アンサンブル表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 ワークシート
	変奏	「旋律の雰囲気を変化させ	a:【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴および構成上の特徴につい	作品	作品	観察 作品

	や編曲に挑戦しよう	よう」「演奏スタイルを変化させよう」	て、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身につけ、創作で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。			
3	和楽器に親しもう	箏:「さくらさくら」	a:【知】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 ワークシート
	表現を工夫して合唱をしよう	合唱曲	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、合唱の表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、歌唱で表している。 b:音楽を織りなす様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、合唱の表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取	観察 聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度